

1名分料金で
2人目無料

ミリ波材料の基礎・設計・評価方法 およびミリ波回路・ミリ波システムへの応用【WEBセミナー】

- ◆日時: 2021年4月28日(水) 10:30~16:30
- ◆会場: 自宅や職場など世界中どこでも受講可
- ◆受講料: 1名につき55,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき**49,500円**
- ・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で55,000円)**

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 国立大学法人 宇都宮大学 工学部 基盤工学科 情報電子オプティクスコース
/ 地域創生科学研究科 工農総合科学専攻 情報電気電子システム工学プログラム 准教授 清水 隆志 氏

【受講対象】

企業、研究機関の技術者・研究者
企業、研究機関の回路設計担当者
企業、研究機関の材料開発担当者

【必要な予備知識】

特に予備知識は必要ありません。

【習得できる知識】

ミリ波に関する基礎知識、次世代ミリ波システムの動向、ミリ波回路材料の使い方・使われ方、ミリ波材料評価技術など

【講演の趣旨】

2020年春に商用サービスを開始した5G通信やさらに高性能・大容量な6G通信、そしてレベル5の次世代完全自動運転車などの実現に向けて、ミリ波と呼ばれる30GHz帯以上の周波数が脚光を浴びています。一方で、ミリ波帯は、マイクロ波帯よりも数倍から数十倍以上も周波数が高くなるため、回路材料となる導体や誘電体に起因した損失が増加し、回路実現を困難にします。このため、使用する周波数帯域において精度良く材料評価し、ミリ波システム設計者が望むミリ波材料をいち早く提供できることが求められております。本セミナーでは、次世代移動通信や次世代自動車への展開に必須となるミリ波やミリ波材料に関する基礎知識からミリ波材料評価方法、さらにはミリ波回路やミリ波システムへの応用例などに関して解説します。

【プログラム】

1. ミリ波とは
 - 1-1. なぜミリ波が注目? 1-2. 定義・特徴
2. ミリ波システム
 - 2-1. これまでのミリ波システム 2-2. これからのミリ波システム
3. 回路評価技術の基礎
 - 3-1. 伝搬定数 3-2. Sパラメータ 3-3. 測定方法
4. ミリ波回路
 - 4-1. ミリ波伝送線路
 - (1) 設計方法 (2) 設計事例
 - 4-2. ミリ波受動回路
 - (1) フィルタの実現例 (2) アンテナの実現例
 - 4-3. ミリ波集積回路
 - 4-4. 望まれるミリ波材料
5. 材料評価技術
 - 5-1. 材料評価技術の分類・特徴
 - 5-2. 高損失材料の評価技術
 - 5-3. 低損失材料の評価技術
 - (1) 平板材料の評価方法 (2) フィルム材料の評価方法
 - (3) 異方性材料の評価方法
 - 5-4. 導体材料の評価技術
 - (1) 表面側の評価技術 (2) 界面側評価技術
6. まとめ

『ミリ波材料【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属・役職	E-Mail	
①			
②			
会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。		<input type="checkbox"/> Eメール	<input type="checkbox"/> 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>